※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	医療・看護系化学	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	「化学基礎」　（第一学習社）						
副教材等	標準セミナー化学基礎（第一学習社）・レッツトライノート Vol.4　化学　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物質に親しみ、見通しをもって学習、実験などを行い、問題解決の能力と物質を探求する心情を育てる」。１年次化学基礎の結合と物質量の復習および、医療系に必要な有機化学の分野について学習します。「物質の成り立ちと量的関係」「有機物質」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生活し、行動すれば人と自然を大切にし、豊かな生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、考え学び続けてください。

2　学習の到達目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 日常生活と社会との関連を図りながら、物資とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活と社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・原則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間まで	化学結合・物質量・炭化水素	イオンとイオン結合 分子と共有結合 金属と金属結合 化学結合と物質の分類 原子量・分子量と式量 物質量 有機化合物の特徴と構造 炭化水素	a:元素の分類と結合の種類について理解する。各結合の特徴と原理について理解する。有機化合物の特徴と構造の多様性について理解する。 b:　原子量・分子量・式量・物質量について理解している。物質を物質量との関係で捉え考え扱うことができる。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
前期期末まで	有機化合物	アルコールと関連化合物 芳香族化合物 天然高分子化合物	a:有機化合物に関心を持ち周期表について理解している。 b:有機化合物の特徴、反応性を理解し分離法・構造決定・用途を考察できる。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度